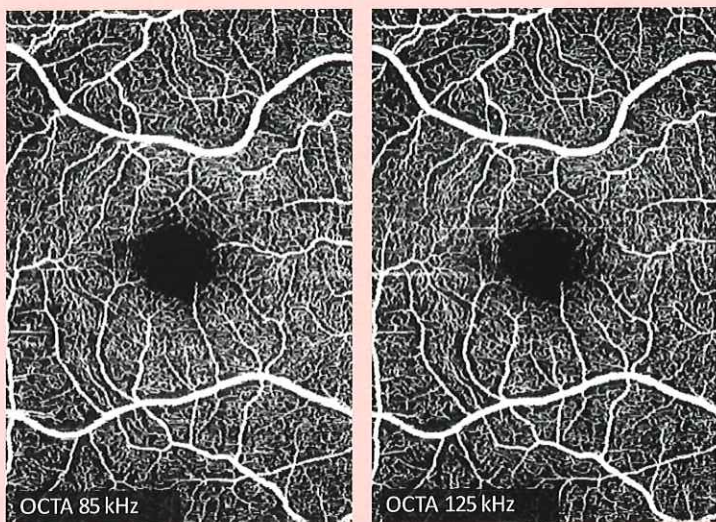


## OCT SHIFT

3種のAスキャンスピード  
検査・症例に合わせて  
自在にシフト可能\*

※検査によって制限あり



## 125 kHz Aスキャンスピード

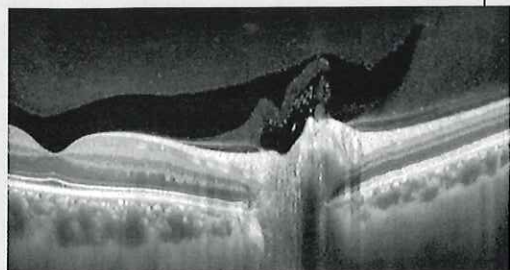
高画質はそのままに  
OCTA検査のスピードを向上

そのAスキャンスピードの速さで、固視微動等から起こるアーチファクトを低減しつつ、検査時間短縮でワークフローを改善します。

## 85 kHz

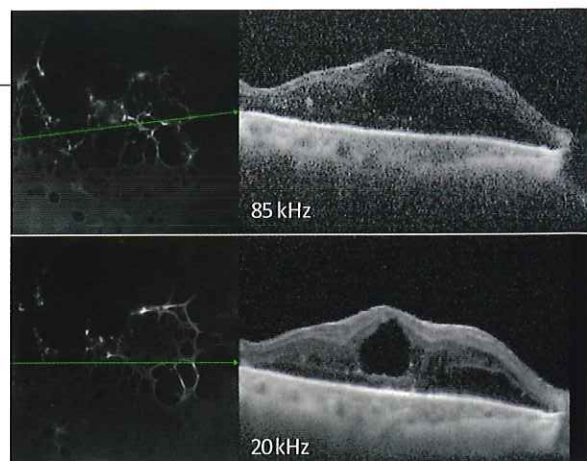
構造OCTの理想の  
速さ：画質比

全ての検査の基本となるAスキャンスピードで、効率の良いワークフローと高画質を両立します。



## 20 kHz

高感度と  
高S/N比で  
難症例の  
検査画質を向上



中間透光体混濁眼

今までは検査が困難であった中間透光体混濁や角膜疾患などの難症例でも高画質で取得でき、より良い診断のサポートをします。

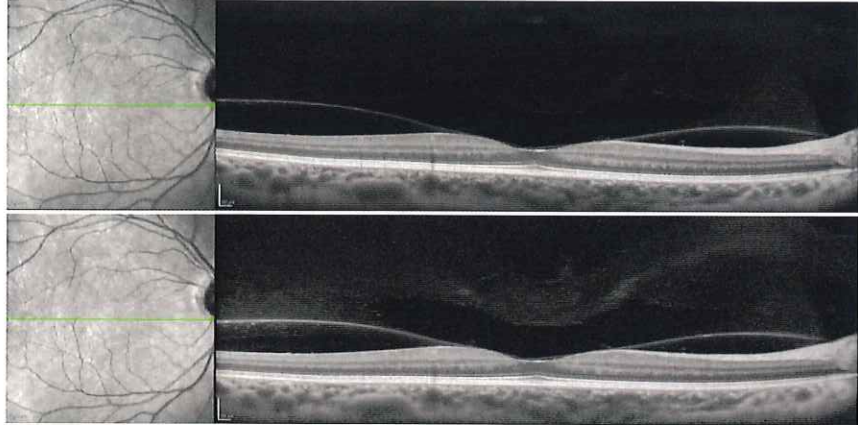
# SPECTRALIS® ソフトウェアバージョン7.0

ソフトウェアバージョン7.0では、OCT SHIFT機能に加え、以下の機能が追加されました。(一部オプション)

## EVIモード

硝子体の可視化に焦点を当てた撮影モード

硝子体網膜界面の疾患やけん引、ブドウ膜炎、硝子体変性など、硝子体のよりよい評価をサポートします。



通常  
モード

EVI  
モード

後部硝子体の黄斑癒着

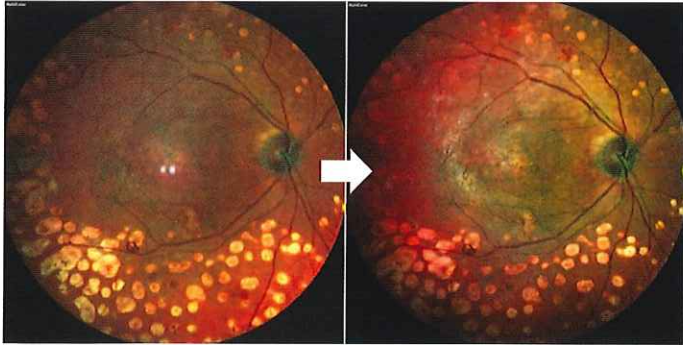
※お使いの装置によってはライセンス(無償)が必要となります。

画像提供: 森 隆三郎先生(日本大学病院眼科)

## マルチカラーリフレクタンスフィルタ

画像中央に映り込んでいたアーチファクトを低減し、より鮮明なマルチカラー画像の取得が可能になりました。

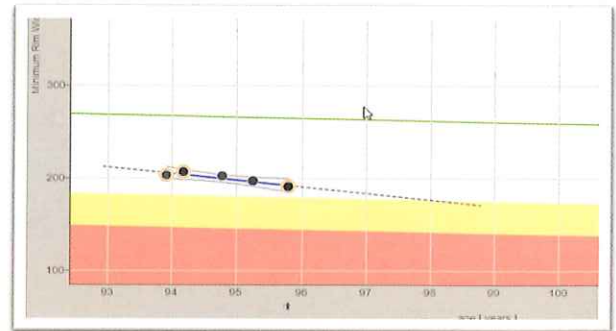
※お使いの装置によってはカメラ内部のフィルタ交換(有償)が必要となります。



## GMPE経過観察タブ(軽微変更)

5回目の検査後に表示される経過予測線が3年後までの表示となり、近い将来の経過予測に焦点をあてています。

3年後まで表示される予測線(破線)。



## Rawデータエクスポート

OCTまたはOCTA、または両方の生データを.vol形式でエクスポートする機能です。

網膜、緑内障、神経眼科の研究、中でも特に人工知能(AI)アプリケーションに関する研究に有益なデータを提供します。

※必要に応じOCTもしくはOCTA、または両方のエクスポートライセンス(有償)が必要となります。

※本資料に掲載の機能を使用するにはソフトウェアバージョン7.0へのアップデートが必要です。  
※お使いの装置のシリアル番号によってはカメラ本体の交換およびPCのアップグレードが必要になる場合があります。  
※仕様および外観は改良のため、予告なしに変更する場合がございます。予めご了承ください。

販売名 ハイデルベルグスペクトラリス 医療機器認証番号 220AIBZX00005000

製造販売元



ジャパン フォーカス株式会社

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-18 (IROHA-JFCビル) ☎03(3815)2611  
大阪/〒541-0053 大阪市中央区本町4-6-7 (本町スクエアビル) ☎06(6262)1099  
URL: <https://www.japanfocus.co.jp/>

製造元: Heidelberg Engineering GmbH, Heidelberg, Germany



総発売元

株式会社 JFCセールスプラン

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷4-3-4 (明治安田生命本郷ビル) ☎03(5684)8531 (代)  
大阪 ☎06(6271)3341 名古屋 ☎052(932)2201 福岡 ☎092(414)7360  
URL: <https://www.jfcsp.co.jp/>